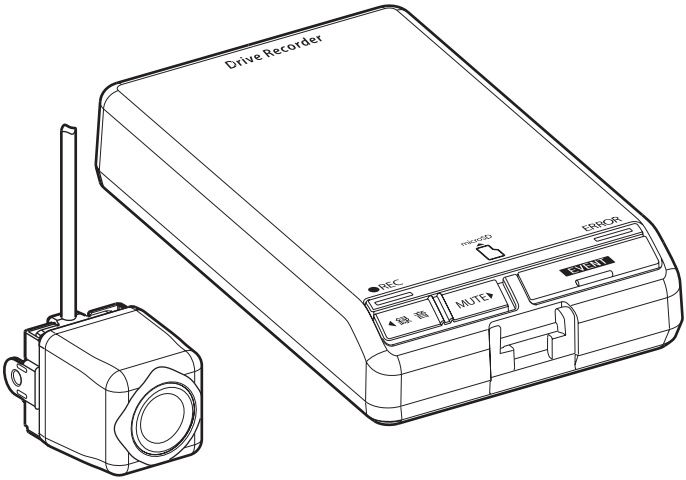
ダイハツ純正

ドライブレコーダー
（前後方記録タイプ）

取 扱 書



お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

ダイハツ工業株式会社

■目　次

安全に正しくお使いいただくために 1

使用上のご注意 7

トレードマークについて 9

ソフトウェアについて 10

各部の名称とはたらき 11

LED 表示 / ブザーによる通知 12
異常通知 12
正常通知 13

本体の操作方法 15
起動する 15
終了する 16
映像と音声を記録する 17
記録した映像を見る 19
ドライビングレポート 19

パソコン用ビューアーソフトの操作方法 20
ビューアーソフトをインストールする 20
記録した映像を見る 23
microSD カードのデータをパソコンにバックアップする 35
パソコンにバックアップしたデータをクリーンアップする 37
本体の設定を変更する 38
microSD カードをフォーマットする 43
ヘルプを表示する 45
バージョン情報を表示する 46
ビューアーソフトを消してしまった場合 47

スマートフォン用ビューアーアプリの操作方法 48
ビューアーアプリをインストールする 48
本機と Wi-Fi 接続する 49
記録した映像を見る 50
本体の設定を変更する 52
ドライビングレポート 53
カメラ映像を確認する 54
Wi-Fi パスワードを変更する 55

よくある質問 56

アフターサービスについて 56

仕様 60

■ 安全に正しくお使いいただくために

この取扱書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。
⚠ **注意**	記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。
注意	記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。

安全運転を行う責任は運転者にあります。本機を過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。
本機によるサポート範囲には限りがあります。
本機が正常に機能していても、周囲の状況と本機が検知している状況が異なる場合があります。したがって、注意義務、危険性の判断、安全の確保は運転者が行ってください。なお、誤った使い方をしたり、操作慣れなどで注意を怠ったりすると思わぬ危険を招くことがあります。

安全のため、運転者は走行中に操作をしないてください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。
走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

⚠ 警告

- **本機は DC12V/24V ⊖アース車専用です。12V/24V 車以外では使用しないでください。**
- **本機を分解したり、改造しないでください。**
  事故、火災、感電の原因となります。
- **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。**
  電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
  事故・火災・感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。**
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **microSD カード挿入口に異物を入れないでください。**
  火災や感電の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に microSD カードの抜き差しやスイッチ操作をしないでください。**
  前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **機器内部に水や異物を入れないでください。**
  発煙、発火、感電の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。**
  落雷により、感電の危険性があります。
- **本機を使用するために、禁止された場所へ駐停車しないでください。**
- **本機が衝撃を感知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。**

⚠ 注意

- **本機の取り付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。**
  取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **車検証シールを貼り替えの際は 、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。**
- **本機を車載用以外で使用しないでください。**
  感電や怪我の原因となることがあります。
- **本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。**
- **本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。**
  故障や破損のおそれがあります。
- **夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。**
  直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をするおそれがあります。
- **使用温度範囲内でも本体が熱くなる場合があります。**
  操作する場合は、火傷などにご注意ください。
- **本機に挿入している microSD カードが熱くなる場合があります。**
  microSD カードを取り出す場合は、火傷などにご注意ください。
- **microSD カード挿入口に手や指を入れないでください。**
  けがの原因となることがあります。
- **フロントガラスのお手入れの際は、カメラの固定具およびカメラのコードを強く引っ張らないでください。**
  カメラの固定具がはずれるおそれがあります。（はずれた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。）
- **クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。**
  両面テープが剥がれ本体が脱落するおそれがあります。
- **本機の隙間をふさがないでください**
  ふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本機について〔必ずお読みください〕

● 本機は、エンジンキーを ACC またはオンからエンジンキーをオフにするまで常時映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。

以下の場合などは、映像が記録されない、または映像が残っていないことがあります。

① 本機に microSD カードを挿入していない場合
② 本機から microSD カードを抜いた場合
③ 本機に付属または純正の microSD カード以外を使用した場合
④ 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
⑤ 大きな事故や水没などで本機およびmicroSDカードが損傷を受けた場合
⑥ 大きな事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
⑦ フロントガラスのくもりや雪などでカメラの視界がふさがれた場合

● 本機は、映像を 25 件（走行中または停車中に衝撃を検知した映像／駐車中に衝撃を検知した映像 10 件まで／スイッチ操作による映像 5 件まで）保護できますが、全ての状況において映像を保護できる事を保証したものではありません。

以下の場合などは、衝撃の検知による映像の保護ができないことがあります。

① 低速で衝突、または相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
② 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
※① ② バンパー、ドア、タイヤボックス等で衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。
エアバッグが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
③ 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合
④ 相手車両の側面をこするように衝突した場合
※③ ④ 相手車両が軽かったり（自動車対人、自動車対自転車等）、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。
⑤ 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合
※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、G センサーでの検知が困難になります。
⑥ 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
⑦ 本機の本体が固定されていなかったり、取付後のオフセット設定が行われていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

● 映像が記録されなかった場合や記録された映像ファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。

● 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。

- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号機が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断願います。信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機が起動中（LED が点滅中、点灯中）に microSD カードを抜かないでください。microSD カードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSD カードの破損による映像が記録できない件について、弊社は一切責任を負いません。
- microSD カードの記録がいっぱいになると、［チャプター］のファイル単位（イベント保護の映像ファイルを除く）で古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。走行中または停車中に衝撃を検知した映像 10 件、駐車中に衝撃を検知した映像 10 件、【EVENT】スイッチ操作を検知した映像５件まで保護する機能がありますが、件数を超えた場合は、古い映像から保護が解除され消去対象となります。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSD カードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いします。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号機が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、GPS により日時、位置、速度を取得しています。記録されたデータの日時がずれている、または位置が変わらない場合は販売店にご相談ください。
- 車両のバッテリーを外すと、GPS の情報を受信した次回起動時から正しい時刻になります。バッテリーを外した後は、記録されている映像のファイル名や位置情報で GPS 情報が受信できたかどうかを確認してください。
- GPS の衛星位置や環境（ビルの影など）によっては受信できない、または受信完了までに時間がかかる場合があります。
- 車両バッテリーの低下などによって、駐車時録画が作動しない場合があります。
- microSD カードを抜く場合は、エンジンオフ（ACC オフ）後、LED が消灯していることを確認してから抜いてください。
- 夜間のナビ画面、昼間の太陽光が反射したダッシュボードや、ダッシュボードの上に置いた物がフロントガラスに映りこんで、映像に残ることがあります。
- 本機では、録画のため映像圧縮機能を用いています。山道（木が多い場所）など変化が多い環境下では、映像圧縮による画質劣化が発生する場合があります。

● 電気的ノイズなどの影響で、記録映像の画面乱れやデータの破損、または故障の原因となる場合があります。

● ドアを閉めた時など、本体が振動を検知した場合、駐車時録画が作動するときがあります。状況に応じて、駐車時感度設定を変更してください。（P.42、P.52 参照）

● 振動の多い場所など、お客様のお車の駐車する環境によっては、駐車時録画が頻繁に作動する場合があります。その場合は、駐車時感度設定を変更してください。（P.42、P.52 参照）

● 本機は、バックカメラを接続することにより、ドライブレコーダーカメラとの 2 カメラ録画が可能となります。接続するバックカメラによってカメラ特性が異なるため、見え方が異なります。また車両よりバックカメラの電源供給を行っているため、エンジンオフ時の機能である駐車時録画はドライブレコーダーカメラのみの録画となり、電源OFFタイマー機能使用時はバックカメラは黒画が録画されます。（P.18参照）

● バックカメラの映像は、バックミラーやサイドミラーで見えるのと同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。

● エンジンキーを ACC からエンジンオンにすると、バックカメラの画面が数秒間黒くなり、映像の録画ができません。

● 本機で記録した映像をパソコン専用ビューアーソフトで見るために、下記のスペックを満たすパソコンが必要です。また、カードリーダーは含まれていませんので、ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

パソコンの必要条件	
OS	Windows 7 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 8、Windows 8.1 *2 日本語版 32 ビット版、64 ビット版 *1 Windows 10 日本語版 *2 32 ビット版、64 ビット版 *1
CPU	2GHz 以上のプロセッサー／ Core i3 以上の CPU*3
メモリ	2GB 以上の RAM*3
ディスプレイ	1,024 × 768（XGA）ピクセル以上、High Color(16 ビット) 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	Internet Explorer 9.0 以降 カードリーダーなどで microSD カードにアクセスできること

＊ 1 上記 OS 以外のバージョンの OS 上で起動させた場合、アプリケーションの動作は保証されません。
＊ 2 タブレット PC を始めとするタップ操作に対応しています。
＊ 3 Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 については、Microsoft 社の推奨システム要件が必要です。

● ご使用のパソコンによっては、再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。その際は、ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。

● 本機で記録した映像をスマートフォン専用ビューアーアプリで見ることができます。スマートフォンの対象機種や OS については、App Store または Google Play をご確認ください。

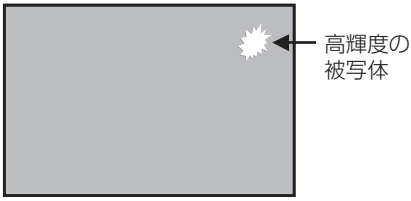
■ 使用上のご注意

- 極端な高温や低温でのご使用は、誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には、必ず、本機に付属または純正の microSD カードを使用してください。付属または純正品以外では正しく動作しません。
- microSD カードを挿入口から挿入してお使いください。
  microSD カードを挿入しない場合、本機は動作しません。
- microSD カードを本機に挿入する場合、向きに注意してまっすぐに挿入してください。
- microSD カードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に microSD カードの抜き挿しを行うと、microSD カードが破損するおそれがあります。
- microSD カードのデータへのアクセス中（LED が点灯中、点滅中）は、絶対に microSD カードを抜かないでください。microSD カードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- microSD カードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認のうえ、microSD カードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。microSD カードが少し飛び出しますので、microSD カードを取り出してください。
- microSD カードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。正しく映像が記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機またはカメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
- 本機またはカメラ部への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因になります。
- 本機またはカメラ本体およびレンズ部分、ブラケット、カメラコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き砂等が配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- カメラレンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。

● カメラコードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。

● フロントガラスやバックカメラに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。

● 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



（※）ブルーミング現象：
高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

● バックカメラで記録した映像は、夜間など周囲が暗いときは、映像の明るさが不足する場合があります。

● 本機で記録されたデータの日時や位置を定期的に確認してください。日時がずれている場合や、位置が変わらない場合は、販売店にご相談ください。

● Windows のエクスプローラ画面で確認すると、ファイルの更新日時は、グリニッジ標準時 (日本時間の 9 時間前) が表示されます。

● ナビゲーションに表示されるバックカメラの映像と、本機で記録された映像は異なる場合があります。
パノラマカメラを接続して本機で記録された映像は、魚眼レンズを通したような映像になります。

■ トレードマークについて

App Store
からダウンロード

- iPhone、Apple、Apple ロゴは、米国および他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- iOS は、Apple Inc. の OS 名称です。

Google Play
で手に入れよう

- Android™、Google マップ、Google Earth、Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。

Wi Fi
CERTIFIED

- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- microSDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標または登録商標です。
- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■ ソフトウェアについて

■ 本機

本ドライブレコーダーに含まれるオープンソースソフトウェアについて

本ドライブレコーダーには、GNU General Public License, Version 2、その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとで、ライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードおよびライセンス情報は、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/DR_Viewer_S16/

About Open Source Software included in the drive recorder

This drive recorder includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 2 (GPLv2) and different copyright licenses, disclaimers and notices. The source code and the license information of software licensed under GPLv2 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below.

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/DR_Viewer_S16/

■ ビューアーソフト

ビューアーソフトに含まれるオープンソースソフトウェアについて

ビューアーソフトには、GNU General Public License, Version 2 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは以下の専用サイトからダウンロードいただけます。

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/DR_Viewer_S16/

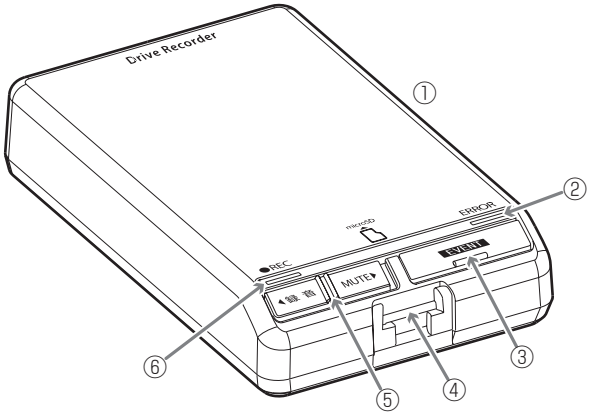
About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 2 (GPLv2) and different copyright licenses, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv2 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below,

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/DR_Viewer_S16/

■ 各部の名称とはたらき

本機



① **マイク**
音声を記録します。
※マイクは本体に内蔵されています。

② **ERROR LED（橙＜アンバー＞）**
点灯、点滅しているときは、本機に異常がある場合です。「LED 表示 / ブザーによる通知」を確認してください。（P.12 参照）

③ **【EVENT】スイッチ**
常時記録中の映像を保護（イベント保護）したり、エラー音を停止します。

④ **microSD カード挿入口**
使用する microSD カードを挿入してください。

⑤ **【MUTE/ 録音】スイッチ**
音声録音のオン / オフを切り替えます。

⑥ **REC LED（緑＜グリーン＞）**
点灯しているときは、記録可能状態です。
「LED 表示 / ブザーによる通知」を確認してください。（P.12 参照）

ワンポイント
【EVENT】スイッチを押した時点から、前 12 秒 / 後 8 秒の合計 20 秒の映像が保護されます。

■ LED 表示 / ブザーによる通知

ERROR LED（橙＜アンバー＞)、REC LED（緑<グリーン>）の表示とブザーによって本機の状態をお知らせする機能があります。LED 状態の記号は、以下のとおりです。

□ ：点灯状態
■ ：消灯状態
：点滅状態 （点灯／消灯の繰り返し）

1 異常通知

ここでは、本機に異常があった場合の状態、原因、対処について説明します。

ブザー	ERROR LED	REC LED	原因	対処
ピーピーピー … ＊ 1, ＊ 2	橙 点滅 1 秒間隔	緑	microSD カードに異常がある、またはフォーマットされていない。	microSD カードをフォーマットしてください。 （P.43 参照）
			microSD カードが挿入されていない。	microSD カードを挿入してください。
ピープー ピープー … ＊ 1, ＊ 3	橙	緑	ハード異常。 カメラ、映像処理系の異常で画像が記録できない。	電源を入れなおしてください。解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
（ブザー音なし）	橙	緑	映像は記録できているが、本体に異常があり正常に動作していない。 （音声、記録日時の異常、Gセンサーなど）	お買い上げの販売店にご相談ください。＊ 4
ピーピーピー … ＊ 1, ＊ 3	橙	緑	オフセット設定未実施。	オフセット設定の必要があるため、お買い上げの販売店にご相談ください。
			オフセット設定実施後、設置場所・方向が変更されている。	

＊ 1：【EVENT】スイッチを押すとブザーが止まりますが、本機は動作していませんのでご注意ください。
＊ 2：ブザー音量を変更できます。音量の初期値は [大] に設定されています。（P.39 参照）
＊ 3：音量の調整はできません。
＊ 4：車両バッテリーを外した後は日時情報が初期値に戻ります。GPS の情報を受信した次の起動時から日時情報が正しい状態に補正されます。

2 正常通知

ここでは、本機が正常に動作している場合の LED 状態、ブザーについて説明します。

● LED 状態

ERROR LED	REC LED	状態	備考
橙	緑	電源OFF	電源 OFF の間は、記録されません。
橙	緑 点滅 0.25 秒間隔	電源 ON ～起動中	起動中は、映像･音声は記録されません。
橙	緑	映像・音声の記録中、または映像のみ記録中(音声録音オフ)	——
橙 点滅 1 秒間隔	緑 点滅 1 秒間隔	スマートフォンと Wi-Fi 接続によるデータ通信中	Wi-Fi 接続中 REC LED（緑＜グリーン＞）と ERROR LED（橙＜アンバー＞）は、1 秒間隔で**同時**に点滅します。 Wi-Fi 接続が終わると LED が消灯します。 Wi-Fi 接続中は映像･音声は記録されません。
橙 点滅 1 秒間隔	緑 点滅 1 秒間隔	ソフトウェアのバージョンアップ中	ソフトウェアのバージョンアップ中 REC LED（緑＜グリーン＞）と ERROR LED（橙＜アンバー＞）は、1 秒間隔で**交互**に点滅します。 バージョンアップが終わると LED が消灯します。

ワンポイント

終了処理中は、REC LED（緑<グリーン>）が点灯～点滅へと変わります。

●ブザー

ブザー	状態	備考
ピッ	正常に起動しました。	——
	常時記録中にスイッチ操作を検知しました。 検知した映像は、上書き保護の対象となります。	【EVENT】スイッチによる操作です。
	エラー音の停止を操作しました。	
ピッピッ	走行中または停車中に衝撃を検知しました。 検知した映像は、上書き保護の対象となります。	衝撃を検知するセンサー感度は調整できます。（P.40、P.52 参照）
プー	イベント保護中にスイッチを操作しました。	イベント保護中は、イベントの保護機能は無効です。
ピーピピピピピ（2 回）	駐車中に衝撃を検知しました。 検知した映像は、上書き保護の対象となります。	駐車時記録後にエンジンキーを ACC またはオンにすると鳴ります。

・ ブザー音量を変更できます。
　音量の初期値は [大] に設定されています。（P.39、P.52 参照）

■ 本体の操作方法

本機は走行中の映像、音声、GPS からの位置情報などを microSD カードに記録します。本機専用のビューアーソフトでは、映像、音声を再生すると共に Google マップとの連携により走行位置を確認することができます。

1 起動する

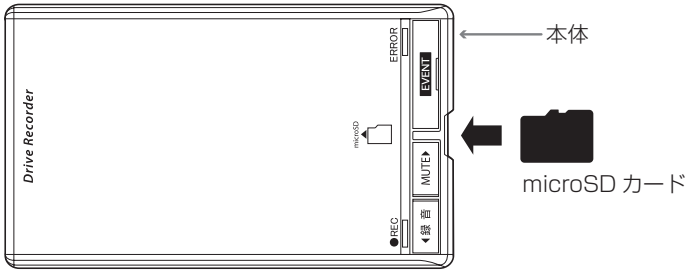
本機の電源は車両のエンジンキーと連動しています。エンジンキー を ACC またはオンにする前に、以下の手順にしたがって microSD カードの有無を確認してください。

1. 本機の電源が切れている状態で、microSD カードが挿入されていることを確認します。

注意

microSD カードが挿入されていない場合は、以下の注意を守って microSD カードを挿入してください。

- 本機の電源が切れていること (LED が消灯している状態) を確認してください。
  本機が動作中に microSD カードの抜き差しを行うと、microSD カードが破損する場合があります。
- microSD カードを本機に挿入する場合は、向きに注意してまっすぐに挿入してください。
- microSD カードは、カチッと音がするまで挿入してください。



2. エンジンキーを ACC またはオンにします。

電源が入り、本機の REC LED（緑＜グリーン＞）が点滅後点灯します（ERROR LED（橙＜アンバー＞）は消灯）。

ワンポイント

●ブザーが「ピッ」と鳴ると、起動完了です。ただし、ブザーの設定（P.39、P.52 参照）を変更した場合、ブザーは鳴りません。

●microSD カードをフォーマット（P.43 参照）した直後は、映像の記録に必要なファイルを作成するために起動完了までの時間が長くなります。

注意

●microSD カードをフォーマットした場合は、本機の電源を入れて、起動完了を実施してください。起動完了をしない場合、次回本機起動時に約 1 分間録画ができなかったり、駐車時録画ができません。

⇒「microSD カードをフォーマットする」（P.43 参照）

●起動完了するまで映像の記録はできません。起動完了と同時に映像の記録を開始します。

2 終了する

1. エンジンキーをオフにします。

記録動作が終了して LED が消灯すると、電源が切れた状態です。

2. 記録した映像をパソコンで見たい場合は、microSD カードを取り出します。

microSD カードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。microSD カードが少し飛び出します。

注意

●microSD カードのデータへのアクセス中（LED が点灯中・点滅中）は、絶対に microSD カードを抜かないでください。microSD カードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。

●microSD カードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認してください。

●電源 OFF タイマーが作動中に、【EVENT】スイッチの長押しで本機の電源を切ることができます。

●microSD カードを挿入しないと本機は動作しません。microSD カードを取り出した場合は、入れ忘れにご注意ください。microSD カードが挿入されていない場合は、ブザーが「ピーピーピー…」と鳴りつづけます。

3 映像と音声を記録する

本機は常時記録型のドライブレコーダーです。強い衝撃を検知、または本体の【EVENT】スイッチを押すと記録映像を保護します。（イベント保護）

エンジンキーを ACC またはオンにすると、本機も起動します。起動が完了すると、映像と音声の記録が開始されます。記録中は REC LED（緑＜グリーン＞）が点灯します。

microSD カードの記録がいっぱいになると、［チャプター］のファイル単位（イベント保護の映像ファイルを除く）で古い映像と音声を消して、新しい映像と音声を記録（上書き）します。

映像を 25 件保護する機能があります。
・走行中または停車中に衝撃を検知した映像※
・駐車中に衝撃を検知した映像（最大 10 件）
・【EVENT】スイッチ操作を検知した映像（最大 5 件）
保護件数を超えた場合は、古い映像から保護が解除され消去対象となります。

エンジンキーをオフにすると、記録が終了します。

■ 常時記録

本機の起動から終了（エンジンキーを ACC またはオンから、エンジンキーをオフ）までの映像を記録します。

■ 走行中または停車中の衝撃検知による自動保護※

常時記録中に衝撃を検知すると「ピッピッ」と音が鳴り、衝撃を検知した時点から、前 12 秒／後 8 秒の合計 20 秒の記録映像が保護されます。

■ 駐車中の衝撃検知による自動保護（イベント保護：10 件まで）

駐車中に衝撃を検知すると、衝撃を検知した約 4 秒後から、約 60 秒間映像を記録します。

■ スイッチ操作による手動保護（イベント保護：5 件まで）

常時記録中に本体の【EVENT】スイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り、スイッチを押した時点から、前 12 秒 / 後 8 秒の合計 20 秒の記録映像が保護されます。

※ 走行中または停車中の衝撃検知による映像保護件数は、駐車中の衝撃検知保護件数とスイッチ操作の保護件数により変動します。

■ バックカメラの記録について

バックカメラと変換コードを接続すると、バックカメラの映像を記録できます。
バックカメラ記録の初期値は [しない] に設定されています。（P.39、P.52 参照）

注意
電源 OFF タイマー機能使用時は、バックカメラの映像は黒画が記録されます。

■ 音声録音のオン／オフの切り替え

本体の【MUTE/録音】スイッチで音声録音のオン／オフが切り替わります。
音声録音のオン／オフいずれの場合も、記録中は REC LED（緑<グリーン>）が点灯します。

注意
●microSD カードへのデータ書き込み中（REC LED（緑<グリーン>）が点灯中･点滅中）は、絶対に microSD カードを抜かないでください。microSD カードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。 ●電源のオン／オフを頻繁に繰り返すと、短時間の記録ファイルが多くなり、全体の記録時間が短くなります。

■ バックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断後、約５秒間の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

4 記録した映像を見る

本機で記録した映像は、パソコン用のビューアーソフトで再生（P.23 参照）するか、またはスマートフォン（Android/iPhone）用のビューアーアプリで再生（P.50 参照）してください。
ナビゲーションで再生する場合は、SD メモリーカードの MP4 再生機能があるものに限られるため、ご使用のナビゲーションの仕様を確認ください。
ナビゲーションの仕様によっては、ドライブレコーダーで撮影された映像が再生できない場合があります。

5 ドライビングレポート

エンジンキーを ACC またはオンから、エンジンキーをオフにするまでの車両の動きを記録し、お客様の運転を評価します。運転終了後に 1 日毎の評価成績をパソコンやスマートフォンで閲覧することができます。
パソコン（P.33 参照）やスマートフォン（P.53 参照）の操作方法をご確認ください。

■ パソコン用ビューアーソフトの操作方法

本機で記録した映像と音声をパソコンで再生できます。再生には専用のビューアーソフトを使います。また、ビューアーソフトで本機の各種設定を変更することもできます。

ワンポイント

Windows 7 Professional Edition (SP1) の画面を使用しています。OS や設定によって画面の表示が異なる場合があります。

1 ビューアーソフトをインストールする

ビューアーソフトのインストーラーは本機に付属または純正の microSD カードにあらかじめ保存されています。ビューアーソフトをパソコンで使用するために、パソコンにインストールします。

1. microSD カードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

ワンポイント

- microSD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、microSD カードをそのまま挿入することができます。
- SD メモリーカードスロットが搭載されているパソコンでは、同梱のアダプタを使用して挿入することができます。
- 各スロットが搭載されていないパソコンの場合は、お客様でカードリーダーをご準備ください。
- お使いのパソコンによっては、microSD メモリーカードスロット／ SD メモリーカードスロットのドライブ文字が異なる場合があります。

2. キーボードのウィンドウズキー（⊞）と E キーを同時に押します。

エクスプローラーが起動します。

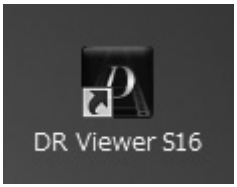
3. microSD カードのドライブを選択して、ビューアーソフトのインストーラー「DR_Viewer_S16_SETUP.exe」をパソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーします。

注意
ビューアーソフト以外のファイルが表示されますが、本体の動作を記録したファイルですので、削除しないようにご注意ください。

4. 任意の場所にコピーした「DR_Viewer_S16_SETUP.exe」をダブルクリックします。

5. インストールウィザード画面で［次へ］をクリックします。以降は画面の指示に従って、インストールを進めます。

6. インストールが終わると、デスクトップに「DR Viewer S16」のショートカットアイコンが表示されます。



ワンポイント

●インストールの完了と同時にビューアーソフトを起動させたい場合は、インストールの完了画面で「プログラムの起動」にチェックを付けたままで「完了」をクリックしてください。

●お使いのパソコンによっては、インストール中およびビューアーソフトの初回起動時にユーザーアカウント制御のメッセージが表示されます。画面の説明に従い、必ず「はい」をクリックしてください。

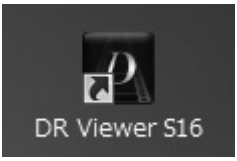
2 記録した映像を見る

記録した映像を、ビューアーソフトで見ることができます。
以下の手順でビューアーソフトを起動し、映像を再生します。

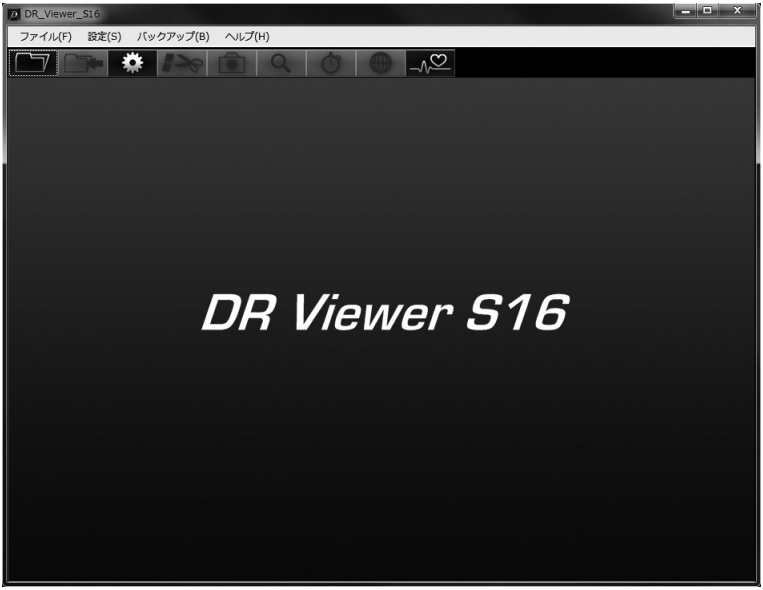
1. ドライブレコーダー本体から抜いた microSD カードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

> **ワンポイント**
> お使いのパソコンの設定によっては、microSD カードを挿入したときに「Windows が実行する動作を選んでください」というダイアログが表示されます。その場合は、「キャンセル」ボタンをクリックするか、「何もしない」を選択するか、または右上の ✕ でダイアログを閉じてください。

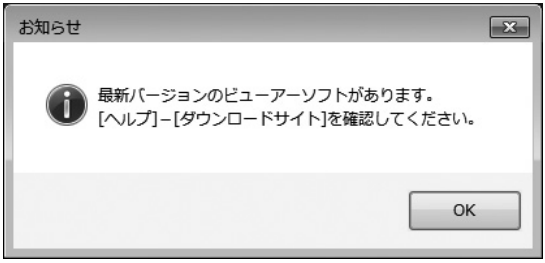
2. デスクトップの「DR Viewer S16」のショートカットアイコンをダブルクリックします。



3. ビューアーソフトが起動します。



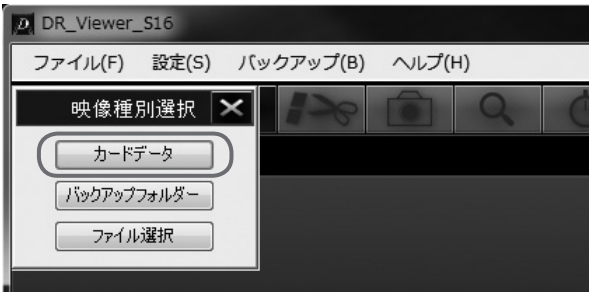
ビューアーのバージョンが古い場合は、以下の画面が表示されます。
最新のビューアーソフトをダウンロードしてください。（P.45 参照）



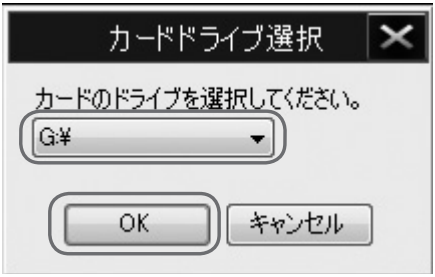
4. をクリック（またはメニューの「ファイル」－「開く」を選択）し、見たい映像のフォルダを指定します。

5. ［カードデータ］（microSD カードの映像）ボタンをクリックします。

バックアップ機能（P.35 参照）でパソコンに保存した映像を見るときは、［バックアップフォルダー］ボタンを、映像ファイルを直接選択するときは［ファイル選択］ボタンをクリックします。
フォルダ構成やファイル名については、P.34 をご覧ください。



6. カードドライブ選択画面で、microSD カードのドライブを選択して［OK］ボタンをクリックします。



バックアップフォルダの選択画面が表示されたときは、保存したフォルダを選択して［OK］ボタンをクリックします。

7. ［トリップ］［チャプター］［イベント］［駐車記録］タブから、映像の種類を選択します。次に、右側の映像リストの見たい映像を選択し、▶ をクリックします。

各タブには、次の映像リストが表示されます。

・［トリップ］タブ　：起動単位（エンジンキーを ACC またはオンからオフまで）の映像リスト※

・［チャプター］タブ：選択したトリップをファイル単位で分割した映像リスト

・［イベント］タブ　：走行中または停車中に衝撃を検知／【EVENT】スイッチの操作によって保護した映像リスト

・［駐車記録］タブ　：駐車中に衝撃を検知して保護した映像リスト

DR カメラ：
（ドライブレコーダーカメラ）

RV カメラ：
（バックカメラ）

ビューアーソフトに指定した映像が読み込まれ、再生が始まります。

※映像の上書きにより、走行途中からの映像が再生されることがあります。

8. をクリック（またはメニューの「ファイル」－「終了」を選択）し、終了します。

ワンポイント

- microSD カードの記録がいっぱいになると、［チャプター］のファイル単位（イベント保護の映像ファイルを除く）で古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）するため、［トリップ］タブの映像を選択すると、走行途中から再生される事があります。
- 表示中の映像を JPEG ファイルで保存したい場合は、表示中の画面で画面上部の をクリックします。映像に埋め込む情報の選択画面で、画像に表示する項目にチェックを付けて、［OK］ボタンをクリックしてください。その後、保存先を指定してパソコンに保存します。
- 映像の一部をズーム（拡大表示）するときは、画面上部の をクリックして、ズーム倍率を選択し、拡大するエリア（範囲）を選択します。ズームを解除するときは、拡大表示中の映像をクリックしてください。
- 映像のみをフルスクリーンで表示するときは、映像表示部右上の をクリックしてください。フルスクリーン表示を解除するときは をクリックしてください。また、映像をクリックしても解除することができます。
- microSD カードに保存できる映像の数は限られています。必要に応じて、microSD カードの映像データをパソコンのハードディスクに保存してください。
  ⇒「microSD カードのデータをパソコンにバックアップする」（P.35 参照）

■ビューアー画面の構成

①	ビューアーソフトを終了します。
②	映像の種別を切り替えます。 [トリップ]　：起動単位の映像を表示※ [チャプター]：ファイル単位の映像を表示 [イベント]　：走行中または停車中に衝撃を検知／【EVENT】スイッチで保護した映像を表示 [駐車記録]　：駐車時に衝撃を検知して保護した映像を表示
③	指定した映像種別の記録日時（または検知日時）とサムネイルを一覧で表示します。
④	選択した映像の位置情報と日時を地図（Google マップ）上にアイコンで表示します。 ：Map が別ウィンドウで表示 もう一度クリックすると Map をビューアー画面に再表示 ：Map が非表示 Map ▲：ビューアー画面に Map が再表示
⑤	再生している映像の G 値の大きさと方向を表示します。 G：表示 / 非表示を切り替え
⑥	再生している映像の速度を表示します。 速度：表示 / 非表示を切り替え
⑦	GPS 未測位時（速度・位置が不明な場合）は、GPS のアイコンがグレーになり、次のように変わります。 ④の自車位置マークの色　：グレー ⑥の速度の数値　：- - ⑥の速度の針の色　：グレー ⑧のチャート図の速度の色：グレー ※ GPS 測位時の GPS アイコンは黄色。

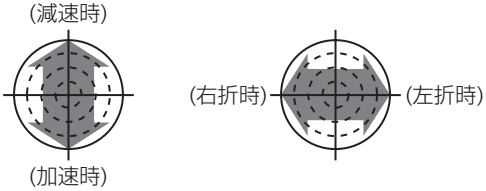
※映像の上書きにより、走行途中からの映像が再生されることがあります。

⑧	情報を表示するチャート図は次のようになります。 左縦軸：加速度 右縦軸：速度 横軸　：時間 桃色　：速度 橙色　：加速度 ※チャート上をクリックもしくはドラッグすると、再生位置を移動することができます。
⑨	映像の再生・停止などの操作用ボタン（P.29 参照）。
⑩	映像の再生位置を表すトラックバー。 起動（検知）単位の映像再生位置（P.29 参照）。 [G]：加速や衝撃を検知した場所
⑪	ビューアー操作用アイコン（P.29 参照）。

ワンポイント

●起動直後やトンネル、ビル街などの受信環境が悪い場合、GPS 衛星の位置によっては、GPS の信号を正しく取得できずに、地図上での自車位置ずれや速度が正しく表示されないことがあります。

●G値の大きさは、値が大きいほど中心から離れます。運転の状況によるG値の方向は下記のとおりです。



●本体の進行方向がずれる場合は、手動で設定を行ってください。
　⇒「センサー設定」（P.40 参照）

●方向は、直進状態の発進・停止のタイミングで学習します。

●発進・停止の少ない走行や山道走行では正しく学習できない場合があります。

●映像を読み込む時や再生している時にエラーメッセージが表示され、映像が正しく再生されない場合は、映像データが破損している可能性があります。必要に応じてmicroSD カードの映像データをパソコンのハードディスクに保存し、microSD カードのフォーマットを行ってください。
　⇒「microSD カードのデータをパソコンにバックアップする」（P.35 参照）
　⇒「microSD カードをフォーマットする」（P.43 参照）

●microSD カードをパソコンから抜くときは必ず安全な取り外し操作を行ってください。

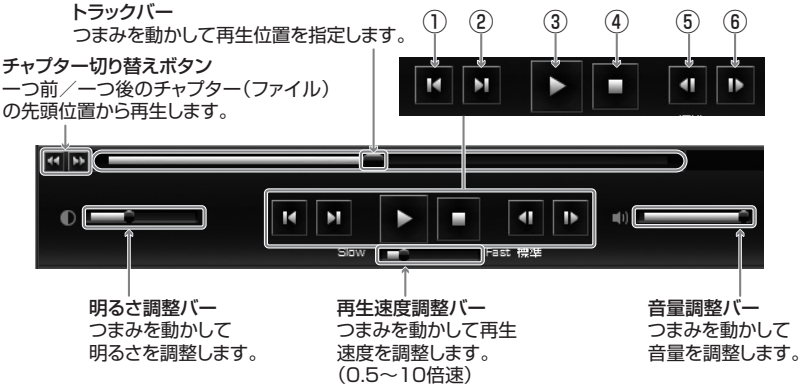
ビューアー操作用アイコン（ボタン）の使い方

ビューアー上部のアイコン（ボタン）では、次の操作ができます。

	microSD カードまたはパソコンから、映像を選択して再生します。
	再生している映像を保存します。（保存再生）
	本機の設定を変更します。
	映像を任意の区間で切り取って保存します。
	映像を JPEG 画像として保存します。
	選択した範囲の映像を、指定した倍率でズーム（拡大表示）します。
	ストップウォッチ機能を別ウィンドウで表示します。
	常時記録の位置データを、Google Earth で表示可能な kmz 形式のファイルに変換して保存します。
	ドライビングレポートを表示します。

再生操作用ボタン／トラックバーの使い方

再生操作用ボタンでは、次の操作ができます。



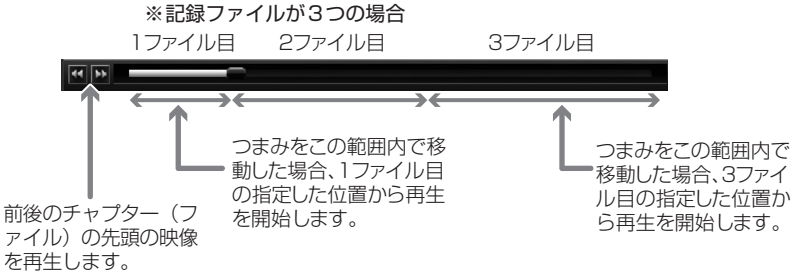
①	一つ前のトリップの先頭位置から再生します。
②	一つ後のトリップの先頭位置から再生します。
③	映像を再生します。再生中は一時停止ボタンとなります。
④	再生を停止します。
⑤	一つ前のコマを表示します。
⑥	一つ後のコマを表示します。

ワンポイント

●映像が暗い場合は、再生操作用ボタンの左端のつまみで映像の明るさを調整してください。ただし、ご使用のパソコンによっては、明るさ調整機能が使用できない場合があります。

●トラックバー左端の ◀◀ ／ ▶▶ をクリックすると、一つ前／一つ後のチャプター（ファイル）の先頭位置から再生します。

●トラックバーのつまみを動かすと、つまみで指定した位置から再生を行います。

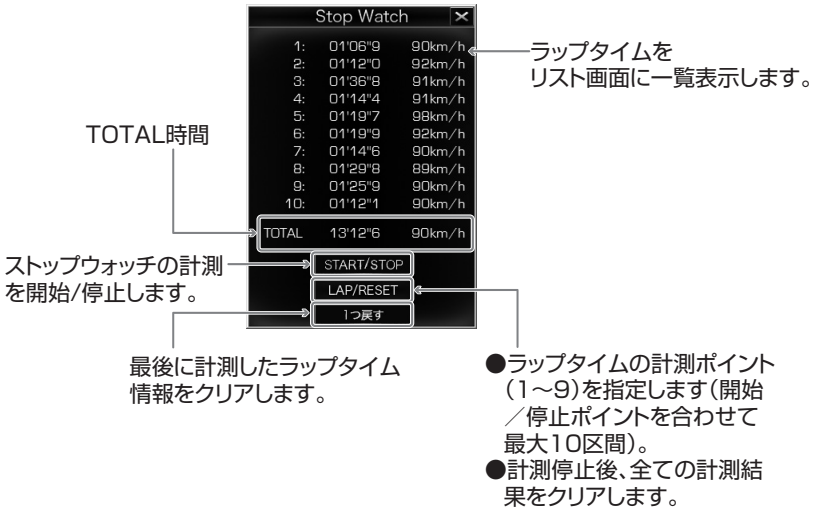


■ストップウォッチ機能の使い方

ストップウォッチ機能を別ウィンドウで利用できます。画面上部の ⏱ をクリックしてください。

計測中は、任意の区間を指定してラップタイム（区間経過時間）の確認ができます。

ラップタイムは、開始（S）／停止（E）に 9 つのポイントを合わせて、最大 10 区間まで指定できます。



ワンポイント

●計測中は、トラックバーに、計測スタート位置／計測ポイント／計測停止位置が表示されます。

・S：計測スタート位置

・1～9：計測ポイント

・E：計測停止位置

●計測中は、前のチャプターへボタンやトラックバーのつまみを動かしても、計測開始ポイントまたは最後のラップポイントより前に戻すことはできません。

●コマ送り、コマ戻しの操作時にラップポイントを指定できます。

●ラップタイムは、前のラップから現ラップ間の区間タイムを表示します。

●再生終了／再生停止操作を行った場合にも、計測を停止して、最終ラップタイムと平均速度を表示します。

●ストップウォッチ動作中、ファイルをまたいでトラックバーを移動させると、読み込みに時間がかかる場合があります。

●各ラップタイムの合計と TOTAL 時間の間に誤差（最大 0.9 秒）が発生する場合があります。

●Stop Watch 画面の内容を保存することはできません。保存したい場合は、パソコンの Print Screen キーを押して画面をコピー後ペイントなどに貼り付け、画像として保存してください。

●計測中に 📁 をクリックし、映像種別を選択すると、計測結果消去の確認画面が表示されます。別の映像を指定するときは [OK] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックして映像種別選択画面を閉じると、計測画面に戻ります。

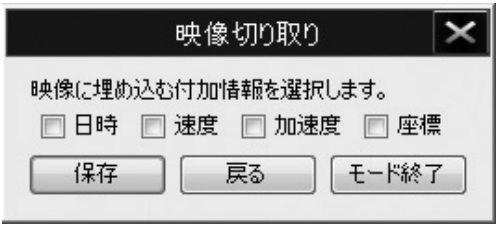
・計測結果をクリアする

計測停止後に LAP/RESET をクリックします。

■任意の映像区間の切り取り方

切り取りの開始時点（位置）の映像で をクリックすると、次のような切り取り範囲指定画面が表示されます。トラックバーのスライダーを動かして切り取り終了位置を選択します。切り取り範囲は、最長 30 分間まで指定できます。

切り取りの終了時点（位置）の映像で、再度 をクリックします。
次の「映像切り取り」画面で、映像に埋め込む情報にチェックを付けて、[保存] をクリックしてください。保存先を指定すると、切り取った映像を保存できます。
ただし、情報を埋め込むと、映像切り取りに時間がかかりますのでご注意ください。



ワンポイント

切り取り後のデータを再度切り取る場合は、付加情報は追加できません。

■ Google Earth 用位置データへの変換方法

変換したい映像を選択し、 をクリックします。

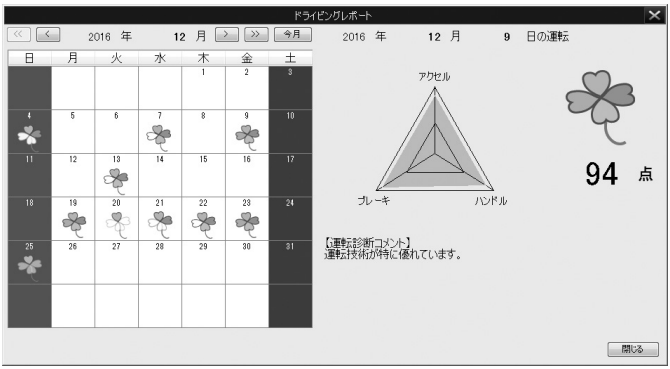
> **ワンポイント**
>
> 変換する前に、お使いのパソコンに Google Earth をインストールしてください。
> Google Earth は、Google のサイトからダウンロードできます。

保存先とファイル名を指定して［保存］をクリックします。Google Earth の起動確認画面で［はい］をクリックすると、Google Earth が起動します。Google Earth 画面左側の保存したファイル名を［▷］で展開し、「ルート」を選択します。 （ツアー再生）をクリックすると、走行軌跡が表示されます。

「ルート」の［▷］をクリックして「マイカー」を選択後、 （ツアー再生）をクリックすると、立体的な映像で走行軌跡を再生できます。

■ドライビングレポートを表示

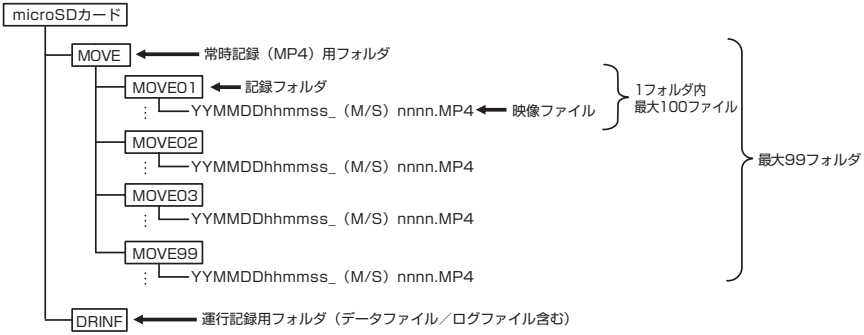
 をクリックすると、ドライビングレポートを表示します。



項目	報告内容
アクセル	車両の急加速の検知回数に基づいて点数化します。
ブレーキ	車両の急ブレーキの検知回数に基づいて点数化します。
ハンドル	車両の急なハンドル操作の検知回数に基づいて点数化します。

■ フォルダ構成とファイル名

microSD カード内は、次のようにフォルダと記録データが保存されています。



●映像のファイル名は、次のルールで付けられます。

YYMMDDhhmmss_（M、または S）nnnn.MP4

年月日時分秒（エンジンキーを ACC またはオンにした時間）_ 録画したカメラ（M：ドライブレコーダーカメラ、S：バックカメラ）連番

※ファイルの更新日時は、グリニッジ標準時 (日本時間の 9 時間前) となります。

●ご購入時は microSD カード内に「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルがあります。このファイルは映像を記録するために必要なため、消さないでください。映像を記録することで映像ファイルとして保存されていきます。

●誤って「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルや映像ファイルを消してしまった場合は本体起動時に再度「DUMMYMOVExxxx.DAT」ファイルを作成するため、記録開始までの時間が長くなります。

●映像のファイル名は、変更しないでください。ビューアーソフトで再生できなくなる可能性があります。また、フォルダやファイル（ルート上の SETINF.DAT や GROUP.DAT など）は削除しないでください。

3 microSD カードのデータをパソコンにバックアップする

microSD カードは容量の関係から、保持しておける映像の数が限られています。microSD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きしていきますので、古い映像を見ることができなくなります。そのため、必要に応じて、microSD カードの映像データはパソコンのハードディスクなどに保存してください。ビューアーソフトを使うと、microSD カードの記録データを、メニューから簡単な操作でパソコンなどに保存（バックアップ）することができます。

1. ビューアーソフトを起動し、メニューの「設定」－「バックアップ保存先」を選択します。

2. バックアップデータの保存先のフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

ワンポイント

バックアップ保存先を設定しなかった場合は、「マイビデオ」フォルダに保存されます。

3. をクリック（またはメニューの「バックアップ」-「バックアップ」を選択）します。

4. バックアップデータの選択画面で、保存するデータにチェックを付けて、[実行] ボタンをクリックしてください。

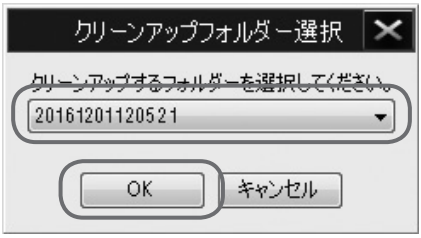
選択した記録データが、指定した保存先にバックアップ（保存）されます。
フォルダ名はバックアップ実行日時が初期表示されます。
バックアップした映像を見るときは、「記録した映像を見る」を確認してください。
（P.23 参照）

4 パソコンにバックアップしたデータをクリーンアップする

「microSDカードのデータをパソコンにバックアップする」(P.35参照)でバックアップした記録データを、メニューから簡単な操作で消去（クリーンアップ）することができます。

1. ビューアーソフトを起動し、メニューの「バックアップ」－「クリーンアップ」を選択します。

2. クリーンアップするフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。



3. クリーンアップするデータを選択して、[実行] ボタンをクリックします。

選択したバックアップデータが、クリーンアップ（消去）されます。

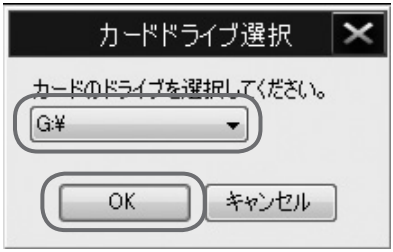
5 本体の設定を変更する

ビューアーソフトから本体の設定値を変更することができます。

1. 本体から抜いた microSD カードを、カードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。

2. ビューアーソフトを起動し、 をクリック (またはメニューの「設定」－「本体設定」を選択) します。

3. microSD カードのドライブを選択して［OK］ボタンをクリックします。



> **ワンポイント**
> microSD カードに動作記録がない場合（または、初めての場合）、「設定ファイルを読み込めません」とメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

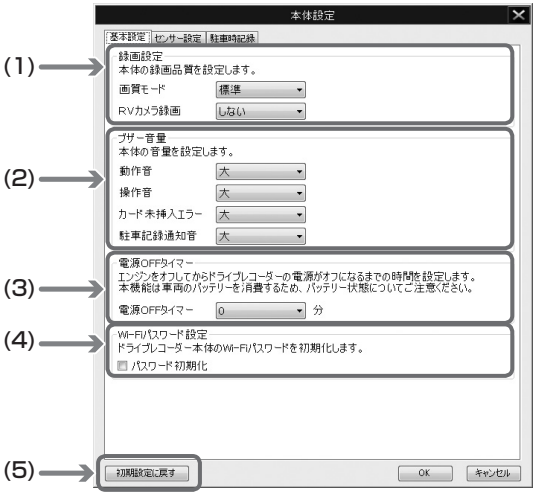
本体設定画面が表示されます。microSD カードを正しく読み込めた場合は、以前に動作していた設定が表示されます。

4. 設定を変更し、設定保存の確認画面で、[OK] ボタンをクリックします。

microSD カードに設定を保存します。設定値を保存した microSD カードを用いて、次回にエンジンキーを ACC またはオンにしたときに、自動的に値が反映されます。

> **注意**
> 設定変更後は、実際の運転と照らし合わせて、衝撃を検知しやすい／検知しにくいことが無いか確認してください。**危険運転(急発進、急ブレーキ等)は絶対に行わないでください。**

■ 基本設定



（1）録画設定

・画質モード
記録する映像の画質モードを高画質モード / [標準モード] / 長時間モードから選択します。
「高画質モード」では録画時間が短くなります。

・RV カメラ録画
バックカメラでの録画をする / [しない] から選択します。

（2）ブザー音量

ブザー音量（動作音、操作音、カード未挿入エラー、駐車記録通知音）を設定します。
[**大**]/ 小 / 消音から選択します。

（3）電源 OFF タイマー

エンジンをオフしてから本機の電源がオフになるまでの時間を設定します。
[0 分] /10 分 /20 分 /30 分から選択します。

（4）Wi-Fi パスワード設定

本機の Wi-Fi パスワードを初期化します。

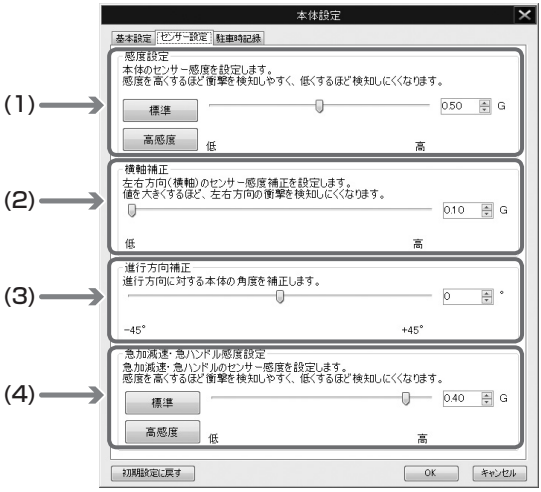
（5）初期設定に戻す

Wi-Fi パスワード設定以外を初期設定に戻します。

※ [　　] の設定値が初期設定です。

注意
●初期設定に戻すと、RV カメラ録画の設定が [しない] になるので注意してください。 ●電源 OFF タイマーを設定する時は、バッテリーの状態に注意してください。

■ センサー設定



（1）感度設定

走行中または停車中の衝撃を検知する感度を設定します。
[標準]/ 高感度 から選択します。または、スライドバーで感度を詳細に設定します。
設定範囲：0.30G ～ 0.70G [0.50G]

（2）横軸補正

左右方向（横軸）に対して感度の補正値を設定します。
設定範囲：0.10G ～ 0.50G [0.10G]

（3）進行方向補正

進行方向の補正角度を設定します。
設定範囲：－ 45 度～ 45 度 [0 度]

（4）急加減速・急ハンドル感度設定

急加速、急減速、急ハンドルに対して感度の補正値を設定します。
[標準]/ 高感度から選択します。または、スライドバーで感度を詳細に設定します。
設定範囲：0.10G ～ 3.00G [0.40G]

※ [　　] の設定値が初期設定です。

注意
●センサー感度はむやみに変更しないでください。 ●**センサー感度を低くした場合、不要なデータは保護されにくくなりますが、必要なデータまで保護されなくなる可能性も高くなりますのでご注意ください。** ●右左折やカーブで検知しやすい（保護されやすい）場合は、横軸補正の設定値を調整してください。

ワンポイント

●センサー感度を高くするほど衝撃を検知しやすくなります。

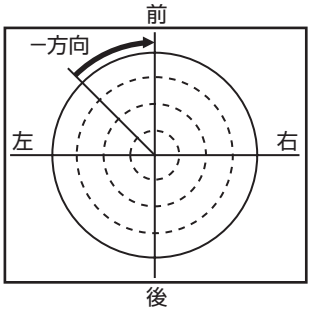
●microSD カードを本体に挿入する前にパソコン上で設定画面を開くと調整前の値が表示されますが（数値は本体挿入後に変更されます）、microSD カードには調整した値を記録しています。

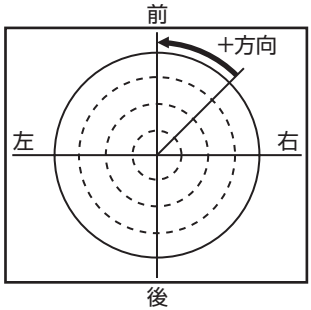
●横軸補正は、前後方向（縦軸）には影響しません。

●進行方向補正角度について

進行方向のずれは、映像を再生して確認してください。

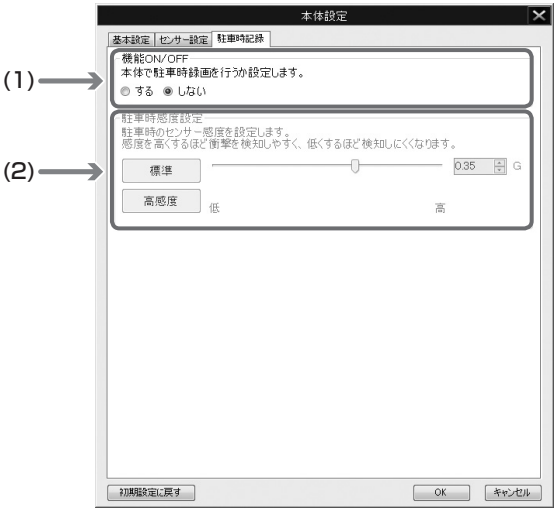
直進中の減速時のグラフが進行方向に対して左にずれている場合－方向に補正してください。また、進行方向に対して右にずれている場合＋方向に補正してください。





●急加減速、急ハンドル感度設定は、ドライビングレポートの点数に影響します。
（P.33、P.53 参照）

■ 駐車時録画設定



（1）機能 ON/OFF

駐車時録画機能のする /[しない] を設定します。

（2）駐車時感度設定

駐車中の衝撃を検知する感度を設定します。
[標準]/ 高感度から選択します。または、スライドバーで感度を詳細に設定します。
設定範囲：0.20G ～ 0.60G [0.35G]

※ [　　] の設定値が初期設定です。

6 microSD カードをフォーマットする

映像を再生したり、映像データをコピーしたりする際にエラーが表示される時は、microSD カードのデータが破損している可能性があります。以下の手順で microSD カードをフォーマットしてください。

注意

●基本的に microSD カードのフォーマットは必要ありません。microSD カードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみフォーマットしてください。

●**フォーマットすると、microSD カードのビューアーソフトのインストーラーおよび映像データは削除されます。**

・ビューアーソフトをパソコンにインストールしていない場合は、先にビューアーソフトをパソコンにインストールしてください。また、必要な映像はパソコンへ保存してください。

⇒「ビューアーソフトをインストールする」（P.20 参照）
⇒「microSD カードのデータをパソコンにバックアップする」（P.35 参照）

1. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。

SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照してください。

① Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイトにアクセスします。専用サイトの URL は下記のとおりです。

http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/DR_Viewer_S16/

② 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。

③ 記述している手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

2. SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］→［SDFormatter］→［SDFormatter］を選択します。

3. ［フォーマット］ボタンをクリックします。

注意
「Drive:」欄が、microSD カードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。 異なるドライブが選択されている場合は、［更新］ボタンをクリックし、microSD カードを挿入したドライブを選択してください。

4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、［OK］ボタンをクリックします。

5. ［終了］ボタンをクリックします。

注意
microSD カードをフォーマットした場合は、本機の電源を入れて、起動完了を実施してください。起動完了をしない場合、次回本機起動時に約 1 分間録画ができなかったり、駐車時録画ができません。 ⇒「起動する」（P.15 参照）

7 ヘルプを表示する

以下の手順でヘルプを表示します。ヘルプでは最新のビューアーソフトのインストーラーがダウンロードできます。

1. メニューの「ヘルプ」－「ダウンロードサイト」を選択します。

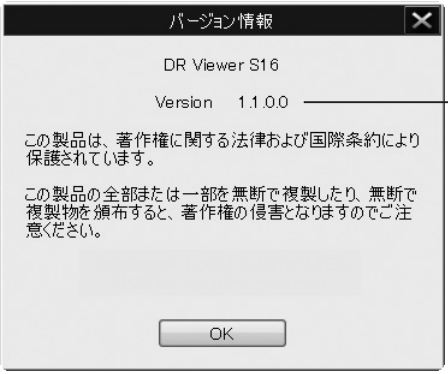
最新のビューアーソフトのインストーラーのダウンロードサイトが表示されます。
ダウンロードするには、インターネット接続の環境が必要です。

8 バージョン情報を表示する

以下の手順でビューアーソフトのバージョン情報を表示します。

1. メニューの「ヘルプ」－「バージョン情報」を選択します。

ビューアーソフトのバージョン情報を表示します。



ビューアーソフトのバージョンを表示します。

9 ビューアーソフトを消してしまった場合

誤ってビューアーソフトを消してしまった場合は、専用サイトよりビューアーソフトをダウンロードしてください。

1. **Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイトにアクセスします。URL は下記のとおりです。**

   http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/DR_Viewer_S16/

注意
専用サイトは、2 ヶ月に 1 回程度の割合で、メンテナンスのために 1 日中アクセスできなくなることがあります。予めご了承ください。

2. **使用許諾条件と免責事項をよく読み、「同意する」を選択してください。**
3. **表示されたサイトからビューアーソフトのインストーラーをダウンロードし、パソコンに保存します。その後は、「ビューアーソフトをインストールする」の手順 4（P.21 参照）からの操作を実行してください。**

■ スマートフォン用ビューアーアプリの操作方法

本機とお手持ちのスマートフォン（Android/iPhone）を Wi-Fi 接続すると、本機で記録した映像と音声をスマートフォンで再生できます。
再生には専用のビューアーアプリを使います。また、ビューアーアプリで本機の各種設定を変更することもできます。

ワンポイント

- スマートフォン用ビューアーアプリは、本機と Wi-Fi 接続しないと使用できません。
- 走行中は、Wi-Fi 機能はご利用できません。安全な場所に車を停車して操作してください。また、Wi-Fi 機能をご利用中に走行を開始した場合もご利用ができなくなります。
- Wi-Fi 接続中は、本機は映像記録を停止しています。映像を記録するには、ビューアーアプリを終了してください。
- Android の画面を使用しています。ご使用のスマートフォンによって画面の表示や操作手順が異なります。また、アプリのアップデートで予告なく画面が変更する場合があります。
- スマートフォンの対象機種や OS については、App Store または Google Play の DR Viewer S の詳細もしくは下記 URL をご確認ください。
  http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/drviewerS/index.html

1 ビューアーアプリをインストールする

Android 向けアプリ：Google Play Store から「DR Viewer S」をダウンロードします。
iOS 向けアプリ：App Store から「DR Viewer S」をダウンロードします。

2 本機と Wi-Fi 接続する

1. 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続し、アプリを起動します。

〈Android〉

① Android の設定から、Wi-Fi をタップします。
② Wi-Fi Direct 画面を表示します。
③ 接続するネットワーク名をタップします。
④ アプリを起動します。
⑤ Wi-Fi 接続用のパスワードを入力します。

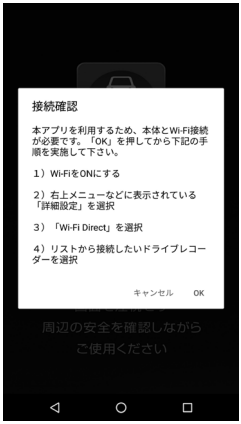
Android と本機の Wi-Fi 接続方法の詳細については、以下の専用サイトよりご確認ください。
http://www.e-iserv.jp/top/driverecorder/manual/wifi_direct_connection_android.pdf

〈iPhone〉

① iPhone の設定から、Wi-Fi 設定画面を表示します。
② 接続するネットワーク名をタップします。
③ Wi-Fi 接続用のパスワードを入力します。
④ アプリを起動します。

ワンポイント

●Wi-Fi 接続のネットワーク名（SSID）と初期パスワードは、取扱書に貼り付けのシールをご確認ください。（裏表紙参照）
●Wi-Fi 接続用パスワードは変更することができます。（P.55 参照）
●アプリを起動したときに、接続画面で [キャンセル] をタップすると、ドライビングレポートのカレンダーを表示します。（P.53 参照）
●Android のみアプリを起動したときに接続確認画面が表示され、[OK] をタップすると Wi-Fi 接続画面が表示されます。



●スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

3 記録した映像を見る

1. アプリを起動します。

アプリと本機の Wi-Fi 接続方法については、「本機と Wi-Fi 接続する」を確認してください。（P.49 参照）

2. ［トリップ］画面で見たい映像のタイトルをタップする。

3. チャプターの映像ファイルリストから見たい映像をタップする。

映像が本機からダウンロードされ、再生が始まります。

ワンポイント

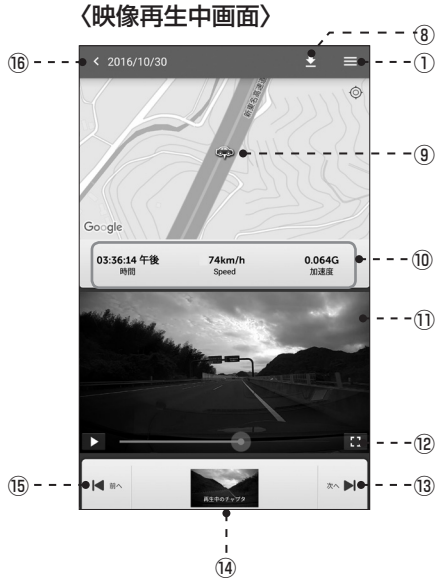
●スマートフォンにダウンロードされた映像は、次回、本機とスマートフォンの Wi-Fi 接続時に自動的に削除されます。

●全画面表示（ ）をタップするか、スマートフォンを横に回転させると全画面で映像を表示します。

■ビューアー画面の構成

〈映像ファイル選択画面〉

〈映像再生中画面〉



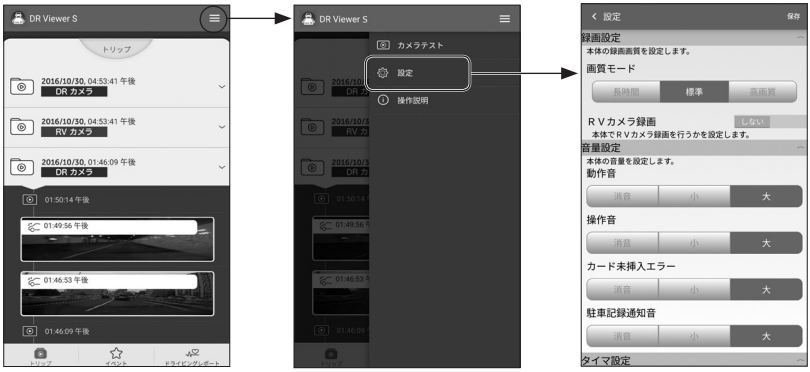
①	設定メニューを表示
②	トリップフォルダ内のチャプター
③	ドライビングレポートを表示
④	イベントリストを表示 新しい映像がある場合は、アイコンの右上に件数が表示されます。
⑤	トリップリストを表示
⑥	トリップフォルダ内のイベント
⑦	トリップフォルダ
⑧	再生中の映像をスマートフォンに保存
⑨	地図上で位置情報を表示
⑩	映像時刻、速度、G 値を表示
⑪	再生中の画面
⑫	全画面表示
⑬	一つ後のチャプターの先頭位置から再生
⑭	再生中のチャプターを表示
⑮	一つ前のチャプターの先頭位置から再生
⑯	映像ファイル選択画面を表示

4 本体の設定を変更する

本機の設定を変更することができます。

1. メニュー (☰) をタップして、[設定] をタップします。

2. 設定を変更したい項目をタップします。



3. [保存] をタップすると変更した内容が反映されます。

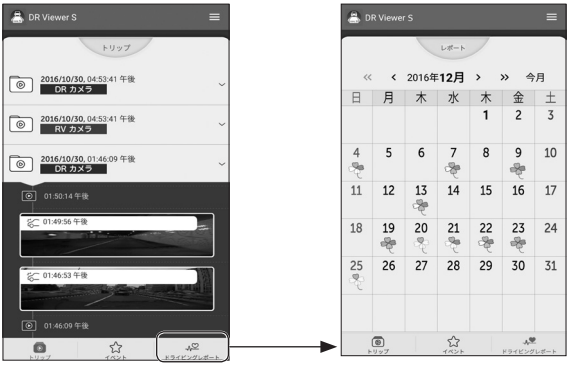
項目		内容
録画設定	画質モード	長時間 / [標準] / 高画質
	RV カメラ録画	する / [しない]
音量設定	動作音	消音 / 小 / [大]
	操作音	消音 / 小 / [大]
	カード未挿入エラー	消音 / 小 / [大]
	駐車記録通知音	消音 / 小 / [大]
タイマー設定	電源オフタイマー	[0 分] /10 分 /20 分 /30 分
センサー設定	G 検知感度（走行時）	[標準] / 高感度 / 0.30G ～ 0.70G [0.50G]
	横軸補正	0.10G ～ 0.50G [0.10G]
	進行方向補正	－ 45 度～ 45 度 [0 度]
	急加速・急ハンドル感度設定	0.30G ～ 0.70G [0.50G]
駐車記録設定	機能 ON/OFF	する / [しない]
	G 検知感度（駐車時）	[標準] / 高感度 / 0.20G ～ 0.60G [0.35G]
パスワード変更		本機のWi-Fiパスワードを変更できます。(P.55 参照)。
初期設定に戻す		Wi-Fi パスワード以外の設定を初期設定に戻します。

※ [　　] の設定値が初期設定です。

注意
●初期設定に戻すと、RV カメラ録画の設定が［ しない ］になるので注意してください。 ●電源 OFF タイマーを設定する時は、バッテリーの状態に注意してください。

5 ドライビングレポート

お客様の運転の評価結果を、カレンダーから日ごとに確認することができます。また、評価結果（運転診断結果画面）を、スマートフォンのアプリを利用して共有（SNS などにアップロード）することができます。

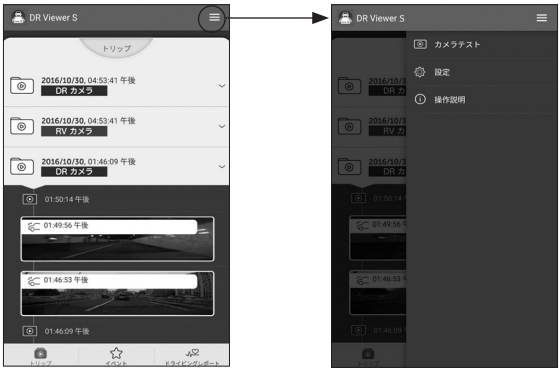


評価結果を共有する場合は、運転診断結果画面でシェア ( ) をタップして、利用するスマートフォンのアプリを選択します。

6 カメラ映像を確認する

リアルタイムのカメラ映像をスマートフォンで確認することができます。

1. メニュー（☰）をタップして、［カメラテスト］をタップすると映像が表示されます。



ワンポイント

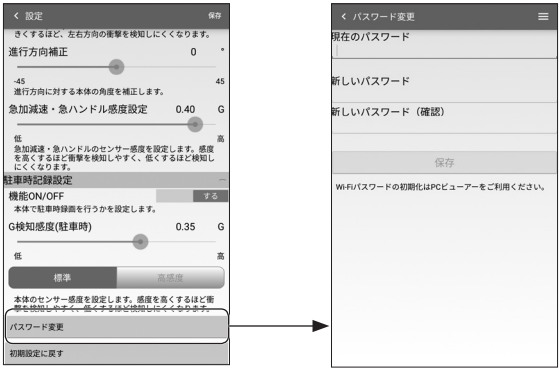
走行中は、Wi-Fi 機能はご利用できません。安全な場所に車を停車して操作してください。

7 Wi-Fi パスワードを変更する

本機との接続に必要な Wi-Fi パスワードを変更することができます。

1. メニュー (☰) をタップして、[設定] をタップします。

2. [パスワード変更] をタップし、現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。



3. [保存] をタップすると新しいパスワードが反映されます。

■ よくある質問

本体

質問事項	回　答
車両の電源を入れてもLEDが点灯しない／電源が入らないんですが？	本体に電源が供給されていない可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
動作確認はどうやって行うのか？	パソコン(P.20参照)またはスマートフォン(P.48参照)で確認してください。
microSDカードのデータを自分で消すことはできるのか？	データは削除しないでください。
カーナビで映像を見ることはできないの？	ナビゲーションで再生する場合は、SDメモリーカードのMP4再生機能があるものに限られます。ご使用のナビゲーションの仕様を確認ください。なお、ナビゲーションの仕様によっては、再生できない場合もあります。
専用のmicroSDカードが壊れたけどどうすればいいですか？	microSDカードのフォーマットを行ってください。(P.43参照) それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
ブザーが小さくて聞こえないのですが、大きくできないの？	ビューアーソフトでブザーの音量を変更できます。 (P.39、P.52参照)
事故の衝撃でバッテリーが外れても記録できますか？	事故の衝撃でバッテリーが外れることを想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源により、電源遮断後、約5秒間※の映像を記録しますが、必ず、記録することを保証するものではありません。 ※バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップできない場合があります。
事故で壊れた場合、修理はしてもらえるの？	事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理後の品質保証ができかねますので、修理をお受けすることはできません。
記録時間を変更したいんですけど？	記録時間は、8GBのmicroSDカードで 高画質モード：約100分 標準モード：　約120分 長時間モード：約240分です。(ドライブレコーダーカメラのみで記録する場合) ビューアーソフトで画質モードを変更してください。 (P.39、P.52参照) また、衝撃を検知して保護されている映像は、検知前12秒/検知後8秒で再生します。 ※市販のmicroSDカードでの動作は保証できません。

本体（つづき）

質問事項	回　答
記録したはずの映像がないんだけど？	microSD カードの記録可能時間の上限を超えると、［チャプター］のファイル単位（イベント保護の映像ファイルを除く）で古い記録から上書き保存していきます。必要に応じて、microSD カードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。（P.35 参照）
［トリップ］タブの映像を選択すると、走行途中から再生されるのですか？	故障ではありません。 microSD カードの記録可能時間の上限を超えると、［チャプター］のファイル単位で、古い映像から上書き保存していきます。上書き対象の古い映像にイベント保護がある場合は、イベント保護の映像ファイルが残るため、［トリップ］タブの映像を選択すると走行途中から再生されることがあります。
信号機が確認できないことがあるけど故障？	映像の記録周期と LED 式信号機の周期によっては、一瞬信号機が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号機が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
エンジンを切っても電源が切れないんですけど？	電源 OFF タイマーを 0 分以外に設定していませんか？電源 OFF タイマーの設定を変更してください。（P.39、P.52 参照） また、電源 OFF タイマーの作動中に、【EVENT】スイッチの長押しで電源を切ることができます。それでも電源が切れない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
本体が起動しないのですが？	お買い上げの販売店にご相談ください。
microSD カードに、映像が記録できないんですが？	次の理由により正常に動作していない可能性がありますので、ご確認ください。 ・microSD カードに異常はありませんか？異常がある場合は、microSDカードのフォーマットを行ってください。(P.43参照) ・本機に付属または純正の microSD カードを使用していますか？市販の microSD カードでの動作は保証できません。
記録開始までの起動時間が長いんですが？	microSD カードをフォーマットした場合など、microSD カードに空き容量がある場合、[DUMMYMOVExxxx.DAT] ファイルを作成するため、記録開始までの時間が長くなります。
記録時間が 120 分より短いんですけど？	microSD カードにドライブレコーダーと別のファイルが入っていませんか？ 短い走行を繰り返し、ドライブレコーダーの ON ／ OFF の回数が多いと、記録時間が短くなる場合があります。 また、高画質モードに設定していませんか？ 高画質モードの場合、記録時間は約 100 分になります。 ビューアーソフトで標準モード / 長時間モードに変更してください。（P.39、P.52 参照）

ビューアーソフト

質問事項	回　答
パソコンを持っていませんが見ることができますか？	スマートフォン用ビューアーアプリで記録映像を見ることができます。（P.50 参照） ナビゲーションで再生する場合は、SD メモリーカードの MP4 再生機能があるものに限られます。ご使用のナビゲーションの仕様を確認ください。ナビゲーションの仕様によっては、再生できない場合もあります。
事故を起こした際、自分に不利な映像でも相手に提出しなければいけない？	提出する義務はありません。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
パソコンの OS が Windows 98、ME、Windows 2000、XP、Vista ですが映像は見ることができますか？	対応 OS は Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 です。それ以外の OS では、ビューアーソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 の OS が快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。
記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見ることはできますか？	可能ですが、すべての汎用ソフトで再生できるわけではありません。常時記録された映像と、走行中または停車中に衝撃を検知/駐車中に衝撃を検知/【EVENT】スイッチを操作して保護された映像との区別ができません。また、パソコンの更新日時と実際の記録日時に差がありますが故障ではありません。（P.8、P.34参照）
ビューアーソフトを消してしまいました。	ビューアーソフトのインストーラーは microSD カードの中に入っています。microSD カードからインストールしてください。また、専用サイトからもダウンロードが可能です。 ⇒「ビューアーソフトを消してしまった場合」（P.47 参照）
パソコンに microSD カードを挿入しても認識しないんですが？	microSD カードが正しく挿入されていない可能性があります。再度 microSD カードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードリーダー付属の説明書を参照してください。
ビューアーソフトが起動しないんですが？	お使いのパソコンの OS は Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 ですか？ビューアーソフトは、Windows 7 より古い OS や、Mac、Linux など他の OS では起動しません。もし、OS が正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアーソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、再インストールしてください。 ⇒「ビューアーソフトを消してしまった場合」（P.47 参照）
スマートフォンと Wi-Fi 接続するときのパスワードを忘れたんだけど？	Wi-Fi パスワードを初期化してください。（P.39 参照） 初期パスワードは、取扱書の裏表紙に貼り付けのシールに記載しています。

ビューアーソフト（つづき）

質問事項	回　答
再生ボタンを押しても、映像の再生が始まらないんですが？	再度ファイルを開いて、再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性があります。ファイルが壊れた場合、再生はできませんので、microSD カードの必要なファイルをパソコンにバックアップ(P.35 参照)した後に、フォーマットを行ってください。（P.43 参照）
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ないんですが？	【MUTE/ 録音】スイッチを「MUTE」に切り替えていませんか？また、ビューアーソフトの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください。（P.29 参照） またはパソコン側の音量設定が最小になっていないかご確認ください。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込めません」との警告が表示されるのですが？	本体設定画面を開く時には、本体が実際に動作していた時の設定記録ファイルを microSD カードから読み込みます。 ご購入直後や microSD カードをフォーマットした後は、このファイルが存在しません。その場合、左記警告が表示されますが問題はありません。そのまま OK ボタンを押してください。
本体設定画面で設定を変更して書き込みをしましたが、設定が変更されていないようなのですが？	故障ではありません。設定を変更した後、再度、設定画面を開いても変更内容は反映されません。ただし、設定を変更するためのファイルは更新されています。 設定を変更した後、microSD カードを本体に挿入して起動させることで、設定内容は反映されます。
再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりするのですが？	ビューアーソフトを終了させ、再度ビューアーソフトを起動して映像を再生してください。
地図の自車位置が実際とずれているんですが？	ビル街など走行する場所や、起動直後など GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず、自車位置がずれることがあります。
速度が実際とずれているんですけど？	速度は GPS の情報から取得しており、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。
速度が異常なんですけど？	GPS 衛星の状態によっては速度が表示されない、もしくは正常に表示しない場合があります。
時々再生スピードが遅くなるようですけど？	故障ではありません。記録時間を確保するため、記録データサイズが大きくなるとフレームレートを間引いて処理しているため遅く見えることがあります。
時々ブロックノイズが多く発生するんだけど？	故障ではありません。山道走行など、撮影映像の変化量が多いと、ブロックノイズが多く発生することがあります。
microSD カードの寿命についてビューアー画面にメッセージが表示されるんですが？	microSD カードの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
バックカメラの映像を再生すると黒いのですが？	故障ではありません。本機はバックカメラとドライブレコーダーカメラの 2 カメラ録画ができますが、電源 OFF タイマー機能使用時はバックカメラへの電源供給が断たれるため黒画として記録されます。

■ アフターサービスについて

■ダイハツ純正　ドライブレコーダー

●この商品には保証書を添付しております。

保証書は販売店でお受けとりの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に各取扱書を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪い場合、次により修理をお申しつけください。

・保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
・保証期間が過ぎているときは、お求めの販売店にまず相談をしてください。お客様のご希望により、有料で修理をお引き受けいたします。
・事故や人災などによる破損やジュース類の混入による故障は修理対応できないことがあります。

●この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低６年間保有しております。

●アフターサービスなどについておわかりにならないときは、お求めの販売店にご相談ください。

■ 仕様

本体

項　目	仕　様
動作温度範囲	− 20 ～+ 65℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	− 30 ～+ 85℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	12V/ 24V
消費電流	最大 1A 以下
外形寸法	横幅 70mm ×高さ 22.5mm ×奥行 113mm（突起部を除く）
質量	約 155 g（ケーブルを除く）
記録方法	常時記録
映像記録時間 / ビットレート	8GB の microSD カードを使用した場合 ＜ドライブレコーダーカメラのみで録画＞ 高画質モード： 約 100 分 / 約 9600 kbps 標準モード　： 約 120 分 / 約 7200 kbps 長時間モード： 約 240 分 / 約 4000 kbps ＜ドライブレコーダーカメラ+バックカメラで録画＞ 高画質モード： 約 120 分 / 約 7700 kbps 標準モード　： 約 160 分 / 約 6000 kbps 長時間モード： 約 230 分 / 約 4150 kbps ※２つのカメラを使用して録画をするときは、映像を圧縮して いるため画質が劣化することがあります。
映像フレーム数	28 フレーム／秒
画像サイズ	高画質モード ：1920 × 1080 標準モード　 ：1920 × 1080 長時間モード ：640 × 360 バックカメラ録画：640 × 480
記録保護件数	最大 25 件 ※ G 検知の保護件数は、駐車時 G 検知（10 件まで）、 スイッチ操作（5 件まで）の保護件数により変動。
時計精度	GPS にて補正
動画 / 音声圧縮方式	MP4（H.264 + AAC）
Wi-Fi 規格	IEEE 802.11 b/g/n

カメラ

項　目	仕　様
動作温度範囲	− 20 ～+ 65℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	− 30 ～+ 85℃ ※湿度 20 ～ 90% RH、結露なきこと
外形寸法	横幅 26mm ×高さ 26mm ×奥行 40mm（背面突起物を除く）
撮影素子	1/2.7 型カラー CMOS
有効画素数	約 200 万画素
画角	水平 117°×垂直 70°

MEMO

MEMO

ダイハツ工業株式会社
株式会社デンソーテン

シール貼り付け位置

090002-39870700
1807MT(K)